



Tokyo Rinkai West Rotary Club

東京臨海西 ロータリークラブ

第2580地区(東分區)



クラブ会長ターゲット

「会員増強し共に成長、発展へ」
"Growing and developing together by
increasing membership"

2023-2024年度 東京臨海西ロータリークラブ会長

三橋 晶



国際ロータリーテーマ

「世界に希望を生み出そう」
"CREATE HOPE in the WORLD"

2023-2024年度 国際ロータリー会長

ゴードン R. マッキナリー

2024年4月19日[第147回]

創立：2018年11月22日

会長：三橋 晶

副会長：継岩 憲二

幹事：橋 豊和

会報担当：大西聡/熊倉貴志

4月19日の卓話

4月5日の出席率

5月10日の卓話

「江戸川グループ合同例会」
3月までの振り返りと奉仕活動報告
クラブビジョン・行動計画発表

会員在籍者数	43名
会員出席者数	32名
会員欠席者数	11名
本日の出席率	74.41%

青少年奉仕フォーラム
青少年奉仕委員会
委員長 佐藤太基 様

《2023-2024年度 東京臨海西 RC 例会 第146回例会報》 2024年4月5日(金)東武ホテルレバント東京「吉野の間」

司会：武井隆光会員

■点鐘：東京臨海西RC 三橋晶会長



■ロータリーソング「奉仕の理想」「四つのテスト」斉唱 ソングリーダー：大倉英樹会員



■「ロータリーの目的」東京

臨海西 RC バージョン

：東京臨海西 RC 継岩憲二副会長

■来賓紹介：三橋晶会長

- 東京臨海西ロータリークラブ 発起人代表
東京臨海ロータリークラブ 鈴木孝行様
- 今年度青少年交換留学生 シリナット君

■ビジター紹介：岩崎裕馬会員



- 青柳忠宏様 (岡田会員ゲスト)
- 市川朋尚様 (岡田会員ゲスト)
- 永野悟様 (岡田会員ゲスト)
- 山本渉様 (石田会員ゲスト)

- 会長報告：三橋晶会長
- シリナット君近況報告



●6/7の第3回クラブ協議会について

■幹事報告：東京臨海西 RC 橋 豊和 幹事



- 4月のロータリーレートは1ドル 151円です
- ガバナー月信4月号をメール配信しました(4/2)
- ロータリーの友4月号をメールBOXに配布しました
- 本日、例会終了後理事役員会を行いますので、理事役員の方は3階「藤菊の間」にお集まりください
- 5/17(金)～18(土)親睦旅行の出欠は4/15(金)までとなります
- 6/28(金)18:00～20:00地区納めの会です。5/24(金)までに出欠のお返事をお願いします

■委員会報告

- 青少年奉仕委員会 佐藤委員長より
- 5/12(土)わんぱく相撲ご協賛について



■今月のお祝

- ・会員誕生日 福本会員、飯塚憲貴会員、松本会員、大倉会員、武井会員、米井会員
- ・1分間スピーチ
- ・奥様誕生日 那須会員夫人、高橋会員夫人、油井会員夫人、雪丸会員夫人
- ・結婚記念日 平井会員、金森会員、二瓶会員、佐藤会員、米井会員、油井会員



(左から三橋晶会長 武井隆光会員
大倉英樹会員 松本奉幸会員 飯塚憲貴会員)

■出席報告：山崎和弘会員

⇒詳細1頁バナー下の出席状況報告欄にて



■ニコニコBOX報告：石田会員



- (ご意向) 今日親クラブ鬼怒川温泉親睦旅行です。例会欠席します。よろしくお願いします：齊藤実様(東京臨海RC・当クラブ特別代表)
- (ご意向) 鈴木結未歩さん卓話よろしくお願い致します：当クラブ三役
- (ご意向) 鈴木さん卓話よろしくお願い致します：栗山会員

(ご意向)岡田さん、お仕事のご紹介、ありがとうございました。鈴木結未歩さん、RYLAの報告、楽しみにしております：飯塚憲貴会員
(ご意向)宜しく願いいたします：武井会員
(ご意向)よろしくお願い致します：島崎会員
(ご意向)次男東京理科大学を無事卒業式を迎えました。又明日長男結婚式を迎えます。ご多用中ご臨席よろしく願い致します：中村会員
(ご意向)新たに入会いたしました。ご縁をいただきありがとうございます：梅原会員
(ご意向)よろしくお願い申し上げます：北林会員
(ご意向)本日もよろしくお願い致します：石田会員

大星会員、油井会員、坂東会員、伊藤会員
二瓶会員、岸会員、松本会員、平井会員、大西会員
岩崎会員、間野会員、岡田会員、飯塚正裕会員
倉持会員、清水会員

【26件 86,000円 今年度累計 1,835,000円】

■卓話者紹介：飯塚憲貴会員

■卓話

「RYLAの報告」

東京臨海西ローターアクトクラブ 鈴木結未歩様



皆様、こんにちは。東京臨海西ローターアクトクラブの鈴木結未歩と申します。本日はライラの参加報告をさせていただきます。短い時間ですが、よろしくお願い致します。

まず初めに今回私がライラセミナーに参加することができたのは、東京臨海西ロータークラブさんにスポンサーしていただきましたおかげですので、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日の卓話の流れは、まず簡単にライラセミナーについてお話しして各講義での学びとその他の学び、そして最終発表する機会がありましたので、そこでどういった発表をしたのかということ。そして全体を通しての感想と時間があれば質疑応答をしたいと思っております。よろしくお願い致します。

先ほど飯塚さんから紹介していただいたのですが、青少年奉仕委員会が主催となって行われている指導者の養成プログラムになっています。今年は4回目で日程が2月22日から2月25日で、場所は代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターという宿泊総合施設で行われました。受講者数は最終的に16名いました。

これが最後の表彰式終了式での写真です。ここに写っているのがマルタリアさんです。

このライラのユニフォームを毎日来ながら研修は行っていました。この4日間毎日違う講師の方に来ていただいて、様々な分野の方々ですので、いろんな学びを得させていただきました。

まず1人目は吉川克彦様です。会社に勤められながら大学院に通ったりする社会人の方々に教えていらっしゃる方で、私たちにはその世界を変えるリーダーシップと題してリーダーシップとは何か、がまたそのリーダーシップを取るためには何が必要かということについてお話してくださいました。

この中でリーダーシップというのは誰も見ていないものを見て、自分の心に火をつけて自らを高揚にかきたてて個人の利害を超えた大きなもののために行動する。そういった能力を持つてる人のことです。リーダーっていうふうに定義されていまして。この話の中で私が特に印象的だったのは、フォロワーが人リーダーにするというお話で、何か人が行動を起こしてもそれはただ行動を起こした人にすぎなくて、そこについていく人がいるからその人がリーダーになるんだよっていうお話でした。そのためについていきたいと思わせるような魅力を日常的に磨く必要があるという話をされていました。

特に社長さんだからついていくとか、この人は命令をするから従うというのではなく地位によらない魅力で、例えばすごく魅力的な夢を持っている人、人間的にすごく魅力的とか信頼感や実力実績がある魅力を持っていることについていく人が増えるよというお話がありました。また特に印象的な言葉が不真面目な優等生ではなく、真面目な不良になるということです。何か集団の中で行動を起こす人ってというのは初めは誰もやっていないことをするので、その集団の中で少し変な人みたいな扱いになってしまう。

その行動を起こすことにはすごく勇気がいると思うんですけども、周りがやっていないことだからとか、社会を良くするためとか、集団をよくするためにいろいろ思っていることがあっても周りに合わせて何もしないっていう優等生でいるだけではなくて、少し不良のようにその集団から外れた少し変な人になってしまったとしても、その勇気を持って行動してみる真面目な不良になるってことが重要だよとおっしゃっていました。

私自身小学生の頃は結構積極的に活動できていたなって思っていたんですけども、最近はその周

りの雰囲気とかに遠慮して物を言えなかったりとかっていうことがあって、でも心の中ではいろいろ思っていることがあって私は結構不真面目なあの優等生になってしまっていたなというふうにお話を伺って思いました。その色々なことを思って、その評論家として終わっているのではなくて、ちゃんと行動家としてその行動を起こせるようになりたいなとお話を伺って心を改めました。次にアギレハンデさん、この方はトルコ出身の方で東京大学で建築家の都市工学を教えていらっしゃる先生でベンシックスオブイノベーションシステムフォークロバリーダーズというタイトルで、イノベーションに関することを講義してくださいました。

イノベーションっていうのは既に開発されたアイデアとかを実際に実施して新しい価値を生み出すことと定義されていました。このイノベーションがなぜ今このグローバルリーダーのためにお話をしてくださるほどこの社会にとって重要なのかというと、経済を安定させる維持するとか、安定されるか活性化させる効果があるということと、あとSDGSのバックボーンになっているよというお話でした。

1つ目についてはイノベーションっていうのは例えばテスラのような電気自動車という市場に対して、電気自動車とか自動運転っていうような新しいその技術を、売り出していくということだったりとか。また、キヤノンが売ってるような精密機器のノウハウを生かして、美容とかそういった化粧品にも応用していくというような、その既存技術を応用して違う市場に売り出していくことだったり、新しい技術を既存の市場に出していくことなどイノベーションというらしいのですが、そのようなそのイノベーションという活動によって、その経済に新しい競争が生まれたりですとか、新たな風を吹かせることによってその達成化した世界経済を読むことができるということが重要ということで、SDGSのバックボーンっていうのはイノベーションをやっている企業というのがよく最近言われて、そのスタートアップ企業って言われる新しい企業っていうのは、やはり今その地球上で問題と言われていることに着目して作られた企業が多いので、そういったスタートアップ企業が先がけとなっているイノベーションっていうのは、そのSDGSを目にしてその事業が行われているがゆえにそのSDGSを達成するためにも、このイノベーションというものは重要である。この2つについてお話されていました。

イノベーションにはそちらに書いてあるんですけど、その5つの個人企業スタートアップ企業のような個人企業、そこに農家を提供する大学のような研究機関とか専門家がいる政府機関と、あとそれを資金だったりとか資料の提供という意味で支える投資家や大企業っていうものの5つのステ

クホルダーがあるということ。伺ってこの5つが等価に上手に働き合っている状態が、その充実したそのイノベーションになっている状態とお話されていて、イノベーションのスケールがハブとディストリクトとエコシステムとスケールがあるとお話されていました。このハブというのはいま本当にこの場のように、いろんな企業の方々がいろんな職種の方々が集まって話す場があれば、もうそれはイノベーションハブと言えるんですけども、例えばシリコンバレーとかボストンのような企業と大学と政府機関とっていうのがたくさんもう町全体としてそのイノベーションがやりやすい環境になっているのがそのイノベーションエコシステムと呼ばれる1番大きな試験のもので、その状態になるのがやはり1番新しいものがどんどん生まれていったりとかしていく状態とおっしゃっていて、ただ日本ではそのイノベーションエコシステムって言われる、この大きなあの街づくりがまだできていない活性化していないということが、問題として先生はおっしゃっていました。この日本でのイノベーションの問題点として何がいけないのかというと、スタートアップ企業が育たないということが挙げられていました。なぜスタートアップ企業が育たないのかというと、十分な資金の無さと長期的なサポートの無さが挙げられていました。アイデアが生まれた段階で、例えば投資家の人がかかるとかあのおいねって言って、それを製品化するまでに投資をする人がいても、その製品が実際に売り出されて市場に流れ出て行って少し軌道に乗ったな、少し花輪が咲いたなっていうところでその投資とか支援を打ち切ってしまったりですとか、またその大企業がアイデアを買収してしまったりですとかっていうことによって、そのスタートアップ企業として、そのアイデアの生みの親が大企業にご進出できるように育ていく過程っていうのもサポートがないということが問題として言われていました。それがどうしてなのかなってなった時に、それはステークホルダーが先ほどの5つのその機関が集まる機会の不足と起業家精神を持っている人が少ないということが挙げられていました。

起業家精神っていうのは、先生はインタープレナーシップって英語でおっしゃってたんですけど。外国の子供たちですと、例えばもう幼少期の幼稚園とか小学生の頃から少し経済の仕組みを学べるような、例えば自分の作ったものも1ドルで売ってみるとか、そういった機会が授業ですとか、そういった遊びの中でも機会があるそうなんですけど、日本ではやはり先生も日本で過ごされている中で感じたのがそういった機会がないことで、起業家精神がないために、その実際に何かそう起業してみようということとか、投資をして応援してみようって思う人が少なく、スタートアップが育たない。

日本にある最先端の技術ですとかアイデアがあまり海外に出ない状態で無くなってしまうものもあるとおっしゃっていました。

本郷RCの上田様がずっとおっしゃっていたのは、何事でも目標を立てる際に計画をする際に理念、ビジョン、コアバリューズ、コアコンピタンスを大事にしてくださいということと、なぜそれをやるのか？結果的にどうなりたいのか？それをやることによるその意味ですとか、その活動の強みとかというのを常に考えながらやっているとすごく充実した、コミュニティだったり活動になるとおっしゃっていました。それらを添えた分かりやすくするために、マインドマップとかビジョンシートって言われるように、ノートとか紙に、実際にこれらを書き出したりとか、その人生計画ではないですけど、そういった物を細かく書いていくことで、自分の夢をしっかりと叶えられるように具体的に思考できるようになるよとお話がありました。

その1つとして、オープンウィンドウ 64 というものを紹介していただいて、実際にワークを行いました。これはこのすごい細かいんですけど、ここに書いてあるのは大谷選手が高校生の時にドラフトで1位を8球団から指名されるために高校1年生の時からどうしたらどういうマップとして書いた紙なんですね。真ん中にドライチ8球団って書いてあって、その周りに8項目。

今回はこのシートを使って制限時間内で8つずつ書いていくというワークをしました。このマーク私がすごいよかったなって思うのが、そう潜在的な自分の考えを知れたなって思っています。その価値の再発見になったなと思っています。

例えば私はすごく幼い頃から習い事をずっとやっていたりとか、今もロータリーでもローターアクトとかローテックス、そしていろんな所で活動していて、すごくせわしく忙しく日々を送っているような印象があるんですけど、やりたいことというところに草原でゴロゴロするとか1日散歩とか、そういうちょっとゆったりとした時間を欲しているようなことが書いてあって、制限時間がすごい短い時間の中でわって書いていくと、自分では普段思ってもないことを意外と思っているものだなと新しいその価値観の発見になりました。

その中でも私は今大学で健康とか保健衛生について学んでいるんですけど、やはり健康をベースにしたこととかも書かれていました。あとは幼い頃から海外志向というか、国際的に活動したいという思いがあるので、そういった国際思考の内容ですとか、そういったものが書いてあって潜在的な考えの中でも忘れた健康でしたか、国際というような自分の中で、意識的にも軸にしているものが、潜在的にも表れているのを再発見することができて、自分の夢に改めて自信を持つこと

ができました。この活動すごく有意義だったなと思っています。

次は香港ロータリークラブにも所属されている安倍ハルカ様のご講義で、この方は弱視で視覚障害を持たれている方なんですが、その視覚障害の世界についてハルカさんの経験などを交えてお話していただきました。そういった障害者としての生活の経験から障害者雇用を行う企業の見学とか、職業体験の場を実際に自分でこの講義の中で活動としてイベントとして作られているそうなので、そういったお話もありました。実際に目をつぶって、傘は杖代わりにして室内を歩くというその視覚障害者の体験もさせていただきましたし、アテンドの方法、声のかけ方や一緒に歩く方法なども教えていただいて実際に体験してきました。ハルカさんのお話の中で1番興味深かったのは、私が質問して答えていただいた生活の中で困ったことです。2つ答えてくださったんですが、まず1つ目は歩車分離式信号は歩行のタイミングが分かりづらいということです。安全、事故などが起こらない安全な、信号の形式のように思うんですけども、視覚障害者の方は普通の信号では車の動きの音で青の方向だったり、タイミングを見計らっている場合もあるらしくて、それが掴みづらいのですごく危険と仰っていました。また間違っって赤信号で渡ってしまったとかしている時とかに普通の信号ですと、その車がより気をつけて、車も注意深く走っているそうなんですけど、歩車分離式信号だと歩行者がいないものだと思って車も入ってくるので、そういった危険もあるとのこと、安全そうに見えるものでも、その障害を持っている方から危険になるんだなって新たな発見がありました。

私は大学で教職過程も履修していて、特別支援教育なども学んでいるんですけども、実際にその視覚障害のためのサポートなども学んでいますがそれを知らない先生が沢山いることでサポートが少なく、インクレイブ教育っていうことが言われていますけど、それが実現していないということをこのお話で目の当たりにしました。

次にツツキノリヒコさん、この方は学生団体折り紙というところから、新たにそのNPO法人折り紙を立ち上げて理事長されている方で、ご自身の過去から現在の活動についてお話していただきました。そして夢を叶えるために人を巻き込む方法について学びました。

ツツキさんは活動を種、植物の種としてコミュニティを土壌として例えられていて、豊かな土壌でなければ種は育たないようにコミュニティも充実していなければ良い活動もできないよとお話をされていました。そのためにはビジョンに対して人を巻き込むストーリーがあるのか、他の人も参加できる余白があるのかとか、またその仲間は其の土を耕すその活動としてただ使われているの

ではなくて主体として考えられているか、その仲間にあった土の特徴を考え切れているか、居心地のいい環境を作れているか。また、そういったものを作るために個人と対話をする環境が作られているかということ、大事にすると良いコミュニティになるよとおっしゃっていました。私自身も活動していて、やっぱり参加コミットできていないメンバーがいるよねということのクラブの中でもあの話題に上がるのでこの学びを活かして考えていきたいなと思いました。その他の学びで、ここに携わってくださっているロータリアンさんの仕事ですとかロータリーでの活動についてお話してくださいました。1番すごく興味深かったのは、このポリオワクチンの活動、実際にあのアフガニスタンとかパキスタンにあの現地に赴いてワクチンの投与活動をしているあの小林様のお話を伺ったことです。

現地でのなんか動画とともにリアルな現状の説明もして下さって実際に動画やお話から日本で生活しては考えられないような劣悪な衛生環境ですとか、ポリオのその小児麻痺の現状を知ることができて大変興味深かったです。私が健康を大学で学ぼうと思ったのも、ロータリーでの衛生活動についてお話を伺ってから大変興味を持って始めたことなので、そういった自分の興味分野のことをもっと深堀して聞くことができたのは大変嬉しいことでした。この出会いをきっかけに、もしタイミングが合えば一緒にそのパキスタンに行って実際にフィールドワークとして帯同してもいいよとおっしゃっていただいて、すごく勇気があることではあるんですがタイミングが合えば是非参加したいなと思っています。最終発表はSDGSを達成するために国連がすべきことを発表しました。私たちは個人の力を最大限に引き出すことが必要だと考えて、ワクワクして参加したいと思わせる工夫をすることが重要だと考えて、グループでプレゼンテーションしました。そのためにコロナ禍で手を洗う活動について旧ジャニーズが歌で広めていったように、そういったSDGSの問題点や行動指標が含まれている歌詞で、曲を出したりとか、それをダンスも街でSNSで発信することにより興味を持つ人、個人を増やすことができるというふうに考えました。また、これ自分たちでキャラクターも考えたんですけど、このキャラクターがその活動をしたことを報告することによって育つとか、後はその中でポイントがもらえて、そういった魅力的なそのアプリを作ること、もう生活の中でSDGSに貢献するような活動をする人が自分にも利益があるという意味でも参加する人が増えるのではないかなって思いました。他のグループもドイツの教育のプログラムを提供するですとか、すごく面白かったのは世界規模で

ふるさと納税をするという大胆なアイデアを発表したグループもありました。すごく短くて恐縮なんですが、感想としては、まず夢を語ることの楽しさ、仲間がいることの強さ、リーダーになる勇氣、自分の夢を叶えたいという思いの強まり、これらを感じました。私はすごく理想的な社会っていうのは、誰もが自由に夢を語ることもできる社会がすごく理想なんじゃないかなと思っています。夢を夢で終わらせないためには、やっぱりその一緒に取り組んでくれる仲間だったり、サポートしてくれる人の存在というのが不可欠だなと今回のライラで思いました。同じ高い志を持つ同年代の人達との出会いで、実際に社会に出て活躍されている方々のお話を聞いて、夢を実現させるために頑張らなければいけないという思いが本当に強まりました。世界には本当に国籍だったり、性別だったり夢を持つことも、自由に夢を持つこともできない人がたくさんいる中で、こうして夢を持って学ぶことができたりですとか、皆さんが私にしてくださっているように、その夢を応援してくださってる方がいるということを実にありがたく思っていて、これからはその夢のために頑張っていて、勉強を続けていければなというふうに思っています。すごく駆け足になってしまったんですけど、これで私の卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。



■ 点 鐘・閉 会：東京臨海西 RC 三橋晶会長

